

(様式第3号)

第2期大野城市スポーツ推進計画（案）に関するパブリック・コメント意見募集の結果

令和8年2月9日

教育部スポーツ課

1 結果の公表期間 令和8年2月9日（月） ～ 令和8年3月31日（火）

2 結果の公表方法

◇次の場所での閲覧

- ・スポーツ課（市役所5階）
- ・市役所1階ホール
- ・行政資料室（市役所新館3階）
- ・各コミュニティセンター
- ・大野城まどかぴあ（まどかぴあ図書館）
- ・総合体育館
- ・総合福祉センター
- ・すこやか交流プラザ

◇市ホームページへの掲載

3 その他必要な事項

決定した計画は、市ホームページで公表します。

4 意見募集の結果

2人 意見3件（うち計画への反映 有： 1件 無： 2件）

【提出された意見の概要】

別紙のとおり

【意見に対する考え方】

別紙のとおり

(様式第3号)

項目(種類)	意見概要	意見に対する市の考え方
P17、P18 基本施策1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 (学校におけるスポーツ活動)、(中学校部活動の段階的な地域展開)	<p>小中学校での部活動について、こどもたちが興味を感じ、希望するスポーツを、少子化や加入者減少などにより体験できない状況の改善のため、関係機関間の連携を強化し早期対策を希望します。</p> <p>また、中学校部活動の段階的な地域展開について、令和8年度までに整備される予定とのことで、効果的な改善を望みます。 (未経験の教員ではなく専門的な活動、指導の環境整備)</p>	<p>今後検討していく内容であるため、<u>本計画の内容の変更は行いませんが、市の考えは次のとおりです。</u></p> <p>中学校の学校部活動において、少子化や加入者の減少に伴い、チームが組めない、指導者不足などを背景に部活動の在り方が変化している状況であるため、本市の学校の実情や状況を踏まえ、より効果的な取組になるよう関係機関と連携し、慎重に検討していきます。</p>
P21、P22 基本施策1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 施策1-4 障がいのある方のスポーツ活動の推進	<p>「東京2025デフリンピック(聴覚障がい者の大会)」が100周年記念大会として開催され、知名度が広がった。この大会はパラリンピックやスペシャルオリンピックより古い歴史を持つものの、周知度が低く競技者も少ない課題がある。100周年の日本開催を契機に、対象者への周知方策や競技紹介を通じて環境整備と推進をしてほしい。</p> <p>また、パラスポーツ、パラアスリートのみの変現を変更する。(各障がいスポーツなどへの変更)</p>	<p><u>意見に基づき、以下のとおり修正します。</u></p> <p>競技の紹介については、本市の小中学校において、デフリンピックの開催に合わせて、道徳の授業や朝の会などの機会を活用し、児童生徒に対してデフスポーツの意義についての啓発を行っております。その際、聴覚障がいのある児童生徒が在籍する学校においては、当事者の心情やニーズに十分配慮しながら、啓発を行っています。</p> <p>対象者への周知につきましては、障がいのある方及び当事者団体等の所管であるすこやか福祉部と連携し、周知、環境整備に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、パラスポーツ、パラアスリー</p>

		<p>トのみの表現を変更することにつきましては、「障がいのある方のスポーツの総称」としてパラスポーツ、そのスポーツを実施する方をパラアスリートとして表現しておりますので、変更はいたしません。ご指摘のとおり、デフリンピックはパラリンピックやスペシャルオリンピックスよりも古い歴史があり、知名度の向上のため、以下の文章に変更します。</p> <p><u>パラリンピックやデフリンピック、スペシャルオリンピックスの普及により、パラスポーツを「見たり・聞いたり・行ったり」する機会が増加してきており、本市においてもパラスポーツの普及啓発を行うとともに、パラスポーツを通じて障がいのある方への配慮や理解を深められるように努めます。</u></p>
P21、P22 基本施策1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 施策1-4 障がいのある方のスポーツ活動の推進	<p>障がい者の参加できるスポーツは、現在ゼロに等しく、障がいの理解を深める？知ってもらうという名目のスポーツ競技としてはボッチャをはじめ、多々あるようだが、現実参加できる・したい・させたい・というスポーツは皆無です。障がい者が参加できるスポーツは非常に少ない現状に対し、風船バレーは参加可能な例として月1回開催されているが認知度が低い。</p> <p>春の市民マラソンへの障がい</p>	<p>今後、取組を進めていく内容であるため、<u>本計画の内容の変更は行いませんが、市の考えは次のとおりです。</u></p> <p>いこいの森ロードレース（春の市民マラソン）への障がいのある方の参加の検討については、主催者である（公財）大野城市スポーツ協会に確認したところ、安全面や運営面などの問題により、現在のところ実施には至っていないとのこと。しかしながら、参加資格を満たすのであれば、障がいのある方にも御参加いただけます。一例としましては、視覚に障がいのある方</p>

(様式第3号)

	<p>者も参加できる「枠」を作ることにより、少しでも広がっていくのではと以前より提案しているが、その度「無理」「安全の確保ができない」等の返答ありで現在に至っている。</p> <p>参加することに意義ありで、障がい者枠の検討をしてほしい。施策1-4 目標値</p> <p>現在0だが3件の内容は？</p>	<p>などは、伴走者と共に参加していただくことが可能です。</p> <p>目標値の3件については、現在のパラスポーツや障がいのある方への理解を深められるよう、障がいのある方もない方も一緒になって、スポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができる事業（スポーツ教室等）などを実施していくこととしています。</p>
--	--	--